

## 天上界のメロディーを伝える「シタールとサロードのコラボレーション」

シタール奏者：パンディット・チャンドラカント・サラデシュムク

サロード奏者：関口祐一

タブラ奏者：ディネッシュ・チャンドラ・ディヨンディ

日時：2008年10月26日（日）開演：16：30

場所：ヨガ ウィズ シツ



サロード:関口祐一



タブラ;ディネッシュ・チャンドラ・ディヨンディ  
シタール; Pt.チャンドラカント・サラデシュムク

### 第3部コラボレーション

JR山手線「五反田」駅から徒歩7・8分という都心にありながら、閑静な住宅街に位置し、年輪を感じさせる桜の木や、下草の茂る風情がある庭は、そのヨガスタジオを訪れた人に都心にいることを忘れさせてしまう。古い日本家屋を現代風に改築している和風モダンといった趣をかもし出していた。50名が入れるくらいのスペースに70名近い聴衆が詰めかけた。これまで氏の様々な大きいホールでの演奏も素晴らしかったが、マイクを通さずに生で音楽を楽しめる絶好の場所でのコンサートは、格別な味わいだった。

まず始めはサロードとタブラの演奏から始まった。関口祐一氏はサロードの巨匠ウスタッド・アリアクバル・カーンに師事し、日本では数少ないサロード奏者だ。観客の中にはライブで聴くのは始めてという方もいて、皆興味深げに聴き入っていた。

次はシタールとタブラ、その次はシタールとサロード、タブラのコラボレーションという3部構成だった。観客の最前列の方は、タブラやシタールの振動が直に伝わる距離で演奏を聴くことができた。夕方のラーガを奏で終わった頃には日も落ち、ライトアップされたステージでの演奏はクライマックスを向かえ、観客の皆さんも一緒にリズムを刻み、ステージと観客が一体と化した。これこそがライブの醍醐味ではないだろうか。

### \*\*終演後、皆様からいただいたご感想\*\*

「言葉では言い表せないひとつに溶け合った素晴らしい時間をいただきました、心からニコニコです。「ナマステ」ありがとうございます。」「こんなに緊張感のない演奏は始めて。大変良い意味で!!」「すごく楽しみにして来ました!やっぱり来て良かったです。間近でかぶりつきで見られました!次回ある時も必ず来ます!」「これだけ近くで(スピーカーを通さず)聞けるといのは素晴らしいことだと改めて感じました。気持ちよかったです。周りに木のある環境も良いです。」「大変心地よい音楽でした。アットホームな雰囲気良かったです。」「PAを通さなかったのが本来の響きの美しさを楽しませて頂きました。」「とても素晴らしいコンサートでした。参加することができて嬉しく思います。また、この機会をいただけたことに感謝しております。」「今回初めてインド伝統音楽を聴きまして、とても広大な宇宙観を感じさせて頂きました。素敵なコンサートでした。「ナマステ」どうもありがとうございました。」「生の波動を身近で、五感で感じました。深い響きをありがとうございました。」「すごいコラボレーションでした。私もまわりの方々も酔いしびれていました。」「気持ちのいい音楽です。良かったです。」「すばらしい!の一語。すばらしかった!」「Magnificent! And great fun.」